

# 平成18年度「いばらき教育月間」の取組結果について

## 概要

### 1. 教育月間における事業総数・参加人数

県では、県民の主体的な取り組みを促進するため、昨年度に引き続き、「地域の教育力の向上」「家庭の教育力の向上」「地域に開かれた学校づくり」「学校・家庭等における心の教育の推進」を4つの柱とし、「いばらき教育の日」推進本部会議を活用して、市町村や民間団体などに対し各種取り組みの実施について協力をお願いしてきた。

その結果、県や市町村、学校、民間団体が、総数6,330事業を実施し、延べ2,430,241人の県民の参加をいただいた。

(内訳)

事業主体		平成18年度		平成17年度			
		事業数	参加者数	事業数	参加者数		
県関係		210	271,921	246	287,437		
市町村関係	県北地方総合事務所管内	237	449,666	226	418,599		
	鹿行地方	27	23,675	46	22,541		
	県南地方	117	232,985	136	285,406		
	県西地方	86	184,143	90	158,333		
	市町村関係計	467	890,469	498	884,879		
学校関係	学校公開	公立保育所・幼稚園・小学校・中学校	2,277 (1,520)	565,189 (410,073)	1,968 (1,570)	495,365 (401,342)	
		県立高校	314 (230)	81,912 (58,116)	317 (230)	81,548 (61,248)	
		公立特殊教育諸学校	136 (81)	13,743 (11,242)	116 (85)	10,591 (8,049)	
		私立保育所・幼稚園	580 (328)	75,543 (42,028)	441 (329)	44,291 (34,563)	
		私立小学校・中学校・高校	75 (51)	31,621 (19,065)	54 (39)	22,513 (17,531)	
		国立幼稚園・小学校・中学校・養護学校	16 (7)	3,035 (1,918)	7 (7)	1,768 (1,768)	
		専修学校・各種学校	53 (47)	3,406 (3,366)	41 (31)	1,648 (1,516)	
		学校公開計	3,451 (2,264)	774,449 (545,808)	2,944 (2,291)	657,724 (526,017)	
		マナーアップ運動 (キャンペーンを含む)	公立保育所・幼稚園・小学校・中学校	1,659	326,888	1,386	257,009
			県立高校	208	23,837	164	23,080
	公立特殊教育諸学校		47	4,293	40	3,489	
	私立保育所・幼稚園		217	60,343	156	19,741	
	私立小学校・中学校・高校		18	5,599	25	4,842	
	国立幼稚園・小学校・中学校・養護学校		5	1,424	4	1,650	
	専修学校・各種学校		13	1,363	8	379	
	マナーアップ運動計		2,167	423,747	1,783	310,190	
	学校関係計		5,618	1,198,196	4,727	967,914	
	民間団体		35	69,655	31	62,826	
	合計		6,330	2,430,241	5,502	2,203,056	

- 1 各実施主体からの報告に基づき集計
- 2 学校公開については、地域住民参加型を( )内書表示

## 2. 教育月間における主な取組

### (1) 地域の教育力の向上のために

#### 「あいさつ・声かけ運動」の実施

---

〔 期間：11月1日～30日 / 県内各地 〕

- ・青少年育成市町村民会議が主体となって、町内会や自治会、小学校区等の地域レベルで運動を実施した。
- ・11月を運動の強調月間として、登下校中の子どもたちに対し、地域の大人たちがあいさつや声かけを行う運動を展開した。
- ・11月1日の「いばらき教育の日」には、県内5駅前において「あいさつ・声かけ運動」街頭キャンペーンを実施した。特に、水戸駅，土浦駅，日立駅，下館駅の4駅では、「さわやかマナーアップキャンペーン」との合同街頭キャンペーンとして、通勤、通学時の学生や社会人に対して、チラシ・啓発物品を配布し、あいさつや声かけの実践や公共マナーについての意識啓発を行った。  
11月1日の参加人数300名。

### (2) 家庭の教育力の向上のために

#### 「家庭の日」の普及啓発活動の実施

---

- ・家庭の日（毎月第3日曜日）の普及促進を図るため、チラシ、ラジオ等の活用などにより、「家庭の日」のPRを実施した。

#### 「家庭の日」キャンペーンの実施

---

〔 期日：11月19日 / 会場：カスミつくばみらい平駅前店 〕

- ・店頭において、チラシ・啓発物品を配布し、家庭の日（毎月第3日曜日）の普及促進を図るためのキャンペーンを実施した。

#### 『「家庭の日」推進フォーラム』の実施

---

〔 期日：11月12日 / 会場：つくば市民ホール「つくばね」 〕

- ・青少年育成茨城県民会議が主体となって、家庭の日（毎月第3日曜日）の普及と家庭の重要性について考える契機となるよう、「家庭の日」についての講演や活動事例発表、小中学生による「家族」をテーマにした作文発表などを実施した。参加人数282名。

### (3) 地域に開かれた学校づくりのために

#### 「学校公開」の実施

---

〔 期間：11月1日～30日 / 県内各地 〕

- ・地域に開かれた学校づくりを進めるために、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校、専修学校・各種学校1,918校のうち、76.4%にあたる1,465校において、学校公開を実施した。
- ・幼児・児童・生徒の保護者をはじめ、地域の方々に学校行事や授業参観に参加していただき、延べ774,449名が学校等を訪問。

## 学校公開の実施状況

事業主体		全体校数	実施校数	実施率(%)	事業数
保育所	公立	202	105	52.0	176
	私立	244	56	23.0	195
	計	446	161	36.1	371
幼稚園	国立	1	1	100.0	2
	公立	202	184	91.1	361
	私立	202	132	65.3	385
	計	405	317	78.3	748
小学校	国立	1	1	100.0	5
	公立	577	574	99.5	1297
	私立	2	1	50.0	1
	計	580	576	99.3	1303
中学校	国立	1	1	100.0	4
	公立	234	224	95.7	443
	私立	10	7	70.0	19
	計	245	232	94.7	466
高等学校	県立	111	111	100.0	314
	私立	27	20	74.1	55
	計	138	131	94.9	369
特殊教育諸学校	国立	1	1	100.0	5
	県立	19	19	100.0	136
	市立	1	0	0.0	0
	計	21	20	95.2	141
専修学校・各種学校	公立	2	0	0.0	0
	私立	81	28	34.6	53
	計	83	28	33.7	53
合計		1,918	1,465	76.4	3,451

## 主な取組事例

### 結城市立玉岡幼稚園 「三世代交流会」〔期日：11月9日〕

園児、保護者、祖父母、地域のお年寄りなどが一緒になって、「竹馬」や「わらべうた」などの昔遊びや「ぞうきん縫い」などを実施することにより、世代を超えた交流を深めた。 来園者数230名。

### 水戸市立柳河小学校 「エンジョイヤなかわワールド」〔期日：11月17日〕

保護者・地域の方々を招き、多くの本を読んだ児童の表彰、全学年による群読の発表や、けん玉やあやとりなどの昔遊びを一緒になって実施することにより、児童と地域住民との親睦を深めた。 来校者数59名。

### 常総市立石下中学校「シンポジウム-感謝される仕事人を目指して-」〔期日：11月9日〕

学校と地域の方々が一緒に教育について考えることを目的に、全校生徒が参加し、生徒と地域の方々が「働くことの意義」について真剣に議論を交わした。 来校者数389名。

### 県立日立第一高等学校 「健康教育講座」〔期日：11月8日〕

「食生活と生活習慣」「乳ガン対策」「ミュージックケア」などの健康講座を生徒自らが企画し、生徒・保護者・地域の方々が一緒に参加することにより、地域に開かれた学校づくりを推進した。 来校者数357名。

## 参加者の感想

「自分の子どもだけでなく、他のクラスの子どもの様子を見ることができて良かった。みんな集中して一生懸命取り組んでいる姿勢や表情に感動した。」

「先生方が、教材をいろいろと研究して授業に取り組んでいる姿が印象的だった。また、クラスの一人ひとりの子どもたちに目が行き届いていると感じた。」

「子どもたちから、明るく『おはようございます』『こんにちは』とあいさつをしてもらい気持ちよかった。」

「子どもの入学前に、学校の様子を見ることができて良かったので、このような機会をもっと増やしてほしい。」

## (4) 学校・家庭等における心の教育のために

### 「さわやかマナーアップキャンペーン」の実施

〔期間：11月1日～30日 / 県内各地〕

・県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特殊教育諸学校の幼児・児童・生徒が、PTA、地域関係機関と連携して、学校や駅前などで規範意識や公共マナーの向上を呼び掛けるキャンペーンを実施した。

### 「マナーアップ運動」の実施状況

県内の保育所、幼稚園、小、中、高等学校、特殊教育諸学校、専修学校・各種学校1,918校のうち、73.8%にあたる1,415校において、幼児・児童・生徒が基本的な生活習慣の定着や公共マナーの向上を目的として、「さわやかマナーアップキャンペーン」を含めた、マナーアップ運動を実施した。

事業主体		全体校数	実施校数	実施率(%)	事業数
保育所	公立	202	130	64.4	159
	私立	244	60	24.6	82
	計	446	190	42.6	241
幼稚園	国立	1	1	100.0	1
	公立	202	184	91.1	239
	私立	202	94	46.5	135
	計	405	279	68.9	375
小学校	国立	1	1	100.0	1
	公立	577	556	96.4	897
	私立	2	0	0.0	0
	計	580	557	96.0	898
中学校	国立	1	1	100.0	1
	公立	234	229	97.9	364
	私立	10	1	10.0	1
	計	245	231	94.3	366
高等学校	県立	111	111	100.0	208
	私立	27	16	59.3	17
	計	138	127	92.0	225
特殊教育諸学校	国立	1	1	100.0	2
	県立	19	19	100.0	47
	市立	1	0	0.0	0
	計	21	20	95.2	49
専修学校・各種学校	公立	2	0	0.0	0
	私立	81	11	13.6	13
	計	83	11	13.3	13
合計		1,918	1,415	73.8	2,167

## 参加者の感想

「来校者や地域の方々に積極的にあいさつすると、笑顔であいさつを返してくれるので、とても気持ちがいい。」(生徒)

「集団行動での約束ごと、バスや公共施設でのきまりやマナーなどについて、親子で考えるよい機会となった。」(保護者)

「幼稚園生から高校生までが一緒になって取り組むことは、とても良い活動である。また、子ども達だけでなく大人への啓発にもなるので、継続して取り組んでもらいたい。」(保護者)

「継続した取組により、あいさつをする生徒が増え、定着した活動として地域の方々の理解や協力を得られるようになった。」(教員)

## (5) 教育の日の気運の醸成と県民の意識の高揚を図るために

### 「いばらき教育の日」推進大会の開催

〔 期日：11月1日 / 会場：水戸市民会館 〕

・11月1日の「いばらき教育の日」に、教育の日の気運醸成と県民の意識の高揚を図るために、県と「みんなで教育を考える『いばらき教育の日』推進協議会」(幡谷浩史会長)との共催により推進大会を開催した。

・「あいさつ・声かけ運動」標語や優秀教員の表彰、長谷川幸介氏(茨城大学助教授)による記念講演、水戸市立吉田小学校等の実践発表などを実施した。

参加人数1,000名。

### 「いばらき教育の日」推進大会の開催

〔 期日：11月28日 / 会場：県民文化センター 〕

・県民の教育に対する関心や意識の高揚を図るために、「みんなで教育を考える『いばらき教育の日』推進協議会」(幡谷浩史会長)の主催により推進大会を開催した。

・優秀標語表彰や善行表彰、藤原正彦氏(お茶の水女子大学教授)による記念講演、茨城県石油業協同組合等の実践発表などを実施した。また、「いじめ」に関して緊急宣言文を採択した。

参加人数1,500名。

### 「地域推進大会」の開催

〔 会場：日立市・那珂市・神栖市・つくば市・結城市 〕

・教育の日の気運醸成を県内全域に広げ、条例の趣旨の県民への更なる浸透を図るために、教育事務所と市町村等との共催により推進大会を開催し、パネルディスカッション、体験発表、作文発表、講演などを実施した。

地区	大会名	主催	期日	会場	内容	参加者
県北地区	「いばらき教育の日」日立市教育講演会	県北教育事務所 日立市等	11月23日	日立市民会館	パネルディスカッション 講演「学力の新しいルール」	1,000名
水戸地区	「いばらき教育の日」親が変われば子どもも変わる運動 那珂市推進大会	水戸教育事務所 那珂市等	11月11日	那珂市中央公民館	子育て体験発表 講演 「子どもの心を育む大人の関わり」	350名
鹿行地区	「いばらき教育の日」教育シンポジウム	鹿行教育事務所 神栖市等	11月18日	神栖市文化センター	パネルディスカッション 講演「共育を考える」	1,000名
県南地区	「いばらき教育の日」つくば市教育講演会	県南教育事務所 つくば市	11月14日	市民ホールとよさと	教育実践紹介 講演	643名
県西地区	「いばらき教育の日」人権講演会	県西教育事務所 結城市	11月13日	結城市民文化センター	人権作文発表 講演「子どもの心の声を聴こう」	800名

## (6) よりよい学校づくりのために

### 『いばらき教育の日』記念教育懇談会」の開催

〔 期日：11月20, 22, 30日 / 会場：県内3カ所の中学校・高等学校 〕

・県内中学校と高等学校で実施する「学校公開」に合わせて、1中学校と2高等学校を会場として、県教育委員と生徒、保護者、教職員等との懇談会を実施し、よりよい学校づくりのための意見交換を行った。

期日	会場	テーマ	参加者
11月20日	県立日立北高等学校	いかに高校生活を充実させるか - 人生における高校時代の位置づけを考える -	529名
11月22日	県立水海道第一高等学校	文武両道の実践 - 学習と部活動の両立について -	308名
11月30日	石岡市立国府中学校	働くことの意義 - 働くことの意義を考え、将来の夢につなげる	257名

## 3. 市町村の事業

### 高萩市 「高萩市の教育を考える集い」

〔 期日：11月26日 / 会場：高萩市文化会館 〕

・「教育は、学校・家庭・地域社会の連携のもとに」をテーマに、児童・生徒、保護者、地域の方々が参加し、児童・生徒作文展優秀作品表彰、幼・小・中学校による合唱等の発表や、「子どもの力を伸ばすには、なんといっても、早起き・早寝・朝ごはん」と題した講演などを実施し、教育への理解と関心を深めた。参加人数1,400名。

### 水戸市 「青少年サミット2006」

〔 期日：11月18日 / 会場：水戸市福祉ボランティア会館 〕

・「友達(仲間)について真剣に考えたことありますか?」をテーマに、児童・生徒・青少年育成者など様々な年代が一緒になって、友達・親友・家族・いじめなどについて真剣に議論を交わすことにより、世代を超えた交流を図った。参加人数107名。

### 阿見町 「いきいき学びの町AMI 平成18年度 共に育む『教育の日』」

〔 期日：11月11日 / 会場：阿見町民体育館 〕

・児童・生徒、保護者、地域の方々などが参加し、日頃の学習や社会活動で培った成果をたたえ合うとともに、町民の生涯学習に対する一層の啓発と、青少年の健全育成を図るため、教育委員会表彰、少年の主張や、「人間育成一まむかし」と題した講演を実施した。参加人数500名。

### 筑西市 「筑西市教育の集い」

〔 期日：11月19日 / 会場：筑西市立明野公民館(イル・プリランテ) 〕

・地域の子どもたちを地域で支えていこうとする気運の醸成を図るため、児童・生徒、教育関係者、地域の方々などが参加し、小学生による少年の主張、中学生による生徒会活動発表や、「夢への階段 - 小中学校は夢への土台作り - 」と題した講演を実施した。参加人数580名。

## 4. 民間団体の事業

### 「茨城県PTA振興大会」

〔 期間：11月25日 / 県民文化センター 〕

- ・学校・地域社会の期待に応えられる活動を展開するために、PTA活動の在り方等について研修し、会員の資質の向上を図るため、茨城県PTA連絡協議会の主催により、振興大会を開催した。
  - ・PTAの組織・運営・活動の充実発展等に功績のあった団体・個人の表彰、陰山英男氏(立命館大学教授)による「学力の新しいルール」と題した講演、PTAの会員による実践発表などを実施した。
- 参加人数1,310名。

### 「『親が変われば、子どもも変わる』運動」

〔 期間：11月4,9,18,26,30日 / 牛久自然観察の森外4箇所 〕

- ・未就学児のいる家庭の親子がふれあいながら、心の絆を深め、思いやりのある楽しい家庭づくりを地域ぐるみで進める団体に対し、社団法人青少年育成茨城県民会議が助成を行い、各団体が「生活のきまりやルールづくり」、「読み聞かせ」、「食育」、「自然とのふれあい」などを進める活動を各地で実施し、家庭の教育力の向上を図った。 参加人数582名。

### 「日々の善行運動」

〔 期間：11月1日～30日 / 県内各地 〕

- ・日本ボーイスカウト茨城県連盟が主体となって、「日々の善行運動」をスローガンとして、善行キーホルダーを身につけ、日常生活の中で、環境美化や地域の行事での社会奉仕活動等の善行運動を実践した。
- 参加人数4,000名。

## 5. 県職員の行動目標に対する実施状況について

### 行動目標

県職員が率先して家庭や地域の活動に参画するために、昨年度に引き続き、下記の4つの行動目標について、「いばらき教育の日」推進本部を活用し、本庁各課長及び出先機関の長に対し趣旨の徹底を図るよう文書等により要請を行った。

#### 県職員行動目標

1. 「あいさつ・声かけ運動」に積極的に参加します。
  2. 「学校公開」に積極的に参加します。
  3. 地域活動やボランティア活動等に積極的に参加します。
  4. 定時退庁日、家庭の日などには、家族との会話や子どもとふれあう機会を持つとともに、地域活動にも積極的に関わるよう努めます。
- (平成17年7月7日「いばらき教育の日」推進本部決定)

## 取組実績

行動目標に対する取組実績について、本庁各課及び各出先機関からの報告を集計した結果、行動目標 1～4 に参加した職員の延べ人数は、22,624人であった。

内訳は、以下のとおり。

### 本庁及び出先機関職員

(対象職員総数 12,412名。知事部局、企業局、病院局、議会事務局、監査委員会事務局、人事委員会事務局、地方労働委員会事務局、教育委員会、警察本部の職員。)

行 動 目 標	平成18年度		平成17年度	
	参加人数	参加率(%)	参加人数	参加率(%)
1.あいさつ・声かけを積極的に行った。	8,970	72.3	8,328	66.5
2.学校行事に積極的に参加した。	2,343	18.9	2,316	18.5
3.地域活動・ボランティア活動に積極的に参加した。	3,300	26.6	3,126	25.0
4.家族との会話や子どもとふれあう機会を積極的に持った。	8,011	64.5	7,141	57.0
延べ参加人数	22,624	-	20,106	-

## 主な取組事例

中学校の地区委員として、下校時の防犯パトロールと併せて、子どもたちに「あいさつ・声かけ」を行った。

子ども会育成会副会長として、子ども会の行事の他、地域の行事に積極的に参加した。

小・中学生を対象とした柔道・剣道教室の開催や、柔道・剣道スポーツ少年団に対する指導を実施した。

町内で実施している体育祭・文化祭の実行委員として企画・運営などに参加した。

地域に伝わる伝統的な行事に子供と共に参加した。